



「花苗販売」



「落ち葉のプール」



「丸太切り体験」



「魚とのふれあいタッチプール」



「ポップコーン作り体験」

②フィールドセンター開放(住吉フィールド)

12月12日(土)、フィールドセンター開放(住吉フィールド)を行った。今回で9回目を迎えたフィールドセンター開放も木曜日までの豪雨も止み、前日の準備も当日も天候に恵まれたこともあり、約2500名と昨年より多くの来場があった。本事業が地域の皆様に根付き楽しみにされていることを実感する。

当日は住吉フィールドで開催することにより家畜防疫の観点から防疫対策(消毒マット、手洗い場の設置、石灰散布、衛生管理区域の設定など)をしっかりと行った。また、日頃からフィールドセンターにご理解・ご協力いただいている地域の方への御礼の意味も込めた開放事業となるようスタッフ一丸となって取り組んだ。

フィールドセンターの教育・研究の成果として「宮崎大学 Beef」の販売、「宮崎大学 Milk」の試飲・販売及び木花・田野・延岡フィールドの野菜や花などの農林産物等の販売を行った。開催前からの問い合わせも多く、朝早くから並んでいるなど大変盛況であった。農林産物等の販売については以前から売り切れてしまうものも多く混雑することから、販売方法の検討・実施を行い、今後も販売方法については検討したい。

体験イベントでは、「バター作り体験」、「仔牛の心音体験」、「トラクター試乗体験」など、住吉フィールド(牧場)を地域の皆様に理解していただくイベントの他に、「椎茸駒打ち体験」、「魚とのふれあいタッチプール」、「お絵かきロール」、「園芸ミニ講座」、「木と触れて遊ぼう」など多くのコーナーを設けることができ子供や親子連れにも大変好評であった。「トラクター市場体験」では終了時間の3時を超えても多くの人が並ばれてとても大盛況であった。

また、新たな試みとしてバター作りの後、自らが作ったバターと木花産のポップコーンを使った「ポップコーン作り体験」、「丸太切り体験」を行った。ポップコーン作りは木花開放でも行ったこともあり、職員の動きもスムーズに出来た。「ポップコーン作り」を単体のイベントとして増設しても良いくらいの好評であった。

宮崎大学のマスコットである「みやだいもうくん」の参加もあり、小さい子供たちが後をついて回るなど大変人気であった。

今後も「地域に馴染み・親しみのある大学」を目指し地域の方により知っていただけるよう充実したイベントを企画・運営・継続していきたい。



「ポップコーン作り体験」



「トラクター試乗体験」



「魚とのふれあいタッチプール」



「丸太切り体験」



「木工体験」



「子牛との触れ合い」



「お絵かきロール」



「みやだいもうくん」